

SSKP つくしんぼの会報誌

つくつく通信

No. 54

つくしんぼはハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

編集～「フリースペースつくしんぼ」 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468



「つくしんぼの子供たちの様子をおしえて下さい」という読者の方のお声にお応えして、今号よりキッズタイムが始まります。

第1弾はエリちゃんの登場です

エリちゃんはただ今中学1年生、笑顔のキュートな女の子。小さな頃からお母さんにベッタリだったエリちゃんも、最近は距離れてきたのか、活動範囲が広がって時々びっくりする事をやってくれます。

ある日の事、お母さんと買い物中エリちゃんは「トイレ」と一言。2人で一緒に入りましたがエリちゃんは一足先に出て行きました。「あっ」と思い急いで追ったのですが……エリちゃんの姿は忽然と消えていました。

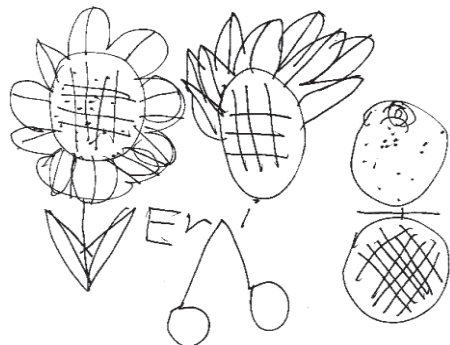
さー大変。車で待っていたお父さん、たまたま居合わせた原学級の男の子たちも巻き込んで大捜索が始まりました。あらゆる所を捜しましたが、どこにもいない……。皆の顔に焦りの色が見え始めた頃、自宅に居たおばあちゃんから一本の電話が……「エリはスーパー近くの派出所にいと連絡があったよ」

「え、派出所？」なぜ？と頭を捻りながら迎えに行くと派出所の窓から半ベソのエリちゃん。おまわりさんから事情を聞くと、お父さんの車まで帰ろうとしたが、途中、時々行くパン屋さんを見つけ思わず入ってしまった。パンをトレーにのせレジに行った所までは良かったが、なにせお金を持っていない。

自閉症のエリちゃんはパターンを覚えるのが大好きで「トレー」→「パン」→「レジ」とここまではすり込まれていたが「お金を払う」所まで入っていなかった。不信に思った店員さんが「迷子」として派出所へ連れて行った……という事らしいのです。

おまわりさんに自分の名前を書いてみせたので、それを頼りに何軒かTELして自宅を突き止め、無事に一件落着、あー、良かった。

笑顔のエリちゃんを抱きしめながら、お母さんは「一人で行動出来るようになったのは嬉しいけれど、あんまりびっくりさせないでよ」「今度は（お金を払う）を刷り込まなくては」と心に強く誓ったのでした。（注 原学級とは交流学級の事です）



前号の「ボランティアについて」続編です

やってみようボランティア

ボランティアの内容にはさまざまなものがありますが、その責任の範囲はとても曖昧です。

実は私(編集者)自身、高齢者への配食サービスを行っている会の代表の方からボランティアとしての心構えについてを伺ったことがあります。

「ある方から『みなさん、気軽にボランティア活動を推奨されますが、もしそんな気軽な気持ちで活動を始めたボランティアさんが車椅子を押していて、途中で気が変わったからと言って気軽に坂道で手を離してしまったらどうなりますか?』と質問されたことがあります。大変厳しいお言葉です。でもこれを聞いて、私は完璧ではないからボランティアは出来ないと、配食ボランティアを希望して下さっている皆さんが尻込みされても困りますが……」

たしかにそうですね。もし私がボランティアに参加する立場になると「無責任なことはできないぞ」と構えてしまうのではと思います。でも反対につくしんぼでボランティアさんを募集する立場なら「とにかく体験してみてください。体験で次第に目覚めていくこともあるし」と気軽に誘ってしまうと思います。

ボランティアがつくる参加型社会

前出の配食サービスの説明会の時は、市の職員の方も説明を聞きに来られていましたが、一人の方が「市の職員さんがいる前ですが、こういうサービスをボランティア



に頼っているのはいかなるものでしょうか」という質問に、会長さんは「そうなんです。

お金に余裕のある方しかボランティアが出来ない、というのはおかしなことなんです」とおっしゃっていました。



折しも6月13日付の朝日新聞に「シンポジウム ボランティアがつくる参加型社会」という記事が掲載されました。ここでさわやか福祉財団体理事長の堀田力氏が「日本では政治家や官僚ら社会をリードする人の理解がなさすぎる。仕組みの整備も欧米に何十年も遅れている」と述べていらっしゃいます。行政の後押しが遅れているが為にボランティア活動が社会を支え、市民の幸せを支えるという認識は広がっていませんよね。とはいえ行政の方も次第にたてわりの構図ではなく、住民参加のボランティアが行政のサービスを担っていくという動きが出てきて、ある町では市役所に「21世紀課」という課をつくり、そこがコーディネーターであり、プロデューサーになって、たてわりを乗り越え住民の知力、労力を得て住民の要望を実現していくというところがあるそうです。

やっぱり根底はお互い様

以前はボランティアという言葉でなく「一日一膳」とか「小さな親切運動」という表現だったと思います。支え合い、お互い様、というニュアンスでしょうか。そう考えると、ボランティアされているハンディのある子供たちも、私たちを支えてくれている、私たちに何かを教えてくれている、のではないのでしょうか。ハンディのある子を持つ親である我々も、支えてもらうばかりでなく、誰かを、何かを支えていけるようになりたいと思いました。

「人には助け合う遺伝子が組み込まれている」前出の堀田氏の言葉です。

みなさん、ありがとう

7月8日(日)につくしんぼの庭で夏祭り & ミニバザーを開きました。当日は上天気 にめぐまれ、まさに夏祭り! 地域の子も たちや近所の方々等たくさん来ていた だき、とても楽しい一日となりました。

ボランティアグループ風の皆さん、学生 のボラさんにもご協力いただき、輪投げや アメつかみ等子どもたちが喜んで参加で

き、好評をはくしました。大谷先生には急きよ ジュース販売をお手伝い いただき、またN父は一



日中ヨーヨーつりを専 任で受け持ってもら い、息子さんと共に積 極的な販売をして下さ いました。

暑い中、皆さんのお 力添えで、無事に楽し くイベントが行えました。心よりお礼申し 上げます。そして今回は、つくしんぼの子 供たちも参加できたので、皆さんに彼らた ちの様子も見ていただけたのでは、と思っ ています。どこかで見かけたおりに是非 声をかけてやって下さい。



週に一度のおもちゃ箱

水曜日の音楽の時間にお邪魔させてい ただくようになってから、半年以上が経 ちました。「南の島の大王は～」と、家 に帰ってからも口ずさんでしまう今日こ の頃.....。

最初は子どもたちと上手く接すること が出来るだろうかという不安や気負いで いっぱいでしたが、考えていてもしよ うがない、とにかく一緒に何でもやってみ よう、と思うようになりました。

言葉では上手く伝わらなくても、お互 いに、徐々にですが、こうしたいのではな いかと察していくこともあります。それ が難しい分だけ、分かったぞ! と思った 時にはたまらなく嬉しい。愛しい。分かっ

たような気になっているだけなのかもしれ ませんが。なかなか振り向いてくれな い人を好きになってしまう、そんな感じ でしょうか? 毎週ゆっくりと変化し、成 長していく子供たちを見て、一緒に遊べ ることを、とても嬉しく思っています。

大学でも、今「ボランティア」が注目さ れています。ボランティアって何? と考 える機会が多くあったりして。色々捉え 方はあるけれど、私なりに考えると、自分 の周り、社会に、興味や関心、そして疑問 を持つこと。目をむけることなのではな いか...と。福祉関係であったり、国際関 係であったり、環境であったり。アプロ ーチの仕方は様々であり、とにかく考えて みるということ。動いてみるということ。 私自身これから様々な人に出会って、少 しても成長していければなあ...と思っ ています。

つくしんぼはそんなことを考えるきっ かけを与えてくれた所です。どうぞこれ からもよろしくお願いします!

おもちゃ箱から、今日は何が出てくる のだろう.....。



つくとく通信の裏表紙



去年までの約5年間、自分勝手に作り続けてきたつくつく通信。今年の春からつくしんぼのお母ちゃん達に編集をお任せし、私自身はお役御免とばかりにノンビリのびのびさせて貰っていたのですが……。

「コラ、代表であるアンタがなんにも書かないなんて、そんな手抜きが通用するかいなっ〜!!」と〇〇さんや××さんや△▽さん達にしっかりグチグチ言われてしまいました。

そういえば、町田市内のどこの通信を見ても、表紙のページって代表か施設長の言葉で飾られているような気がする。でも、だからといって、それと同じにしなきゃならないってこともないと思うのだけれど。

と言いつつ、手抜きと言われれば、それはたしかにその通りでありまして……。(^_^;

で、この最終ページのフリースペース部分をとりあえず施設長である私が担当させて頂くことにいたしました。ここだったら、それほど気を使わなくても済みそうだし、しょーもないこと書いても大丈夫かも知れないし。

と、クドクド解説しているうちに、ずいぶんスペースを使ってしまったような……。(^o^)

つくしんぼは今、夏休み活動の真っ最中です。エアコンのない室内は、まさしく“真夏”です。私が夏バテでブツ倒れるのは、時間の問題かと……。

♪つくしんぼの地図♪

町田バ-センター&バ-スタ-ミルより「鶴間」行のバスに乗り「二子バック前」バス停下車 徒歩3分

...つとくです

田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分弱です

《ボランティア・ご寄付ありがとうございました》

堀内様、今井様、小林様、福井様、荒木様、岩崎様、矢沢様、斉藤様、山田様、井上様、池沢様、堀内様、平田様、小林様、萩村様、近藤様、大谷様、西村様、高田様、中田様、山下様、阿部様、小野様、佐久間様、池田様、平野様、花島様

福井様、小林様、高尾様、林様、小泉様、長谷様、川本様、山本様、千知岩様、貴達様、大谷様、権田様、平田様、福井様、小山様、伊佐様、中田様、岩井様、五十嵐様、平田様、「風」の皆様、大鳳社様、サイドバイサイド町田ボランティア様

(6~7月)

つくしんぼをささえる会

ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子ども達の放課後活動の場として活動しています。96年5月に開所し、現在は補助金を頂いていますが、運営面で苦しいのが現状です。

もしよろしかったら「ささえる会」の会員になって頂けませんか。1口2000円をお願いしております。

会員の皆様には、この会報「つくつく通信」を送付させていただきます。よろしく願いできましたら幸いです。

郵便振替口座番号
00120-7-168283
加入者口座名称
フリースペースつくしんぼ